

●「球技大会」が行われました。



10月2日（木）・3日（金）の2日間にわたって秋の恒例行事「球技大会」が行われました。屋内ではバスケットボール・バレーボール、屋外ではサッカーがそれぞれ男女別で実施され、各クラスとも色鮮やかなクラスTシャツを身にまとい、一致団結して勝利を目指しました。

優 勝：3年1組
 準優勝：3年2組・2年2組
 第3位：3年3組



●「仙台市内中学生対象授業公開」実施



10月15日（水）3・4校時、仙台市内の中学生を対象とした授業公開を行いました。これは「普段の仙台南高校を公開する」ことをねらいとしたもので、授業の公開や食堂の開放を行う取組です。この日は、仙台市内の各中学校より、約200名の中学生（各学年）の皆さんが来校し、本校の日常の様子を見学しました。事後アンケートの結果では、「中学校よりも自由度が高く、楽しそうだと感じました」「校舎もグラウンドも広く、とてもキレイで、魅力を感じました」「先輩方が温かく声をかけてくださりとてもうれしかったです」「入学したときのイメージがとてもふくらみました」「本当に楽しそうだなと思いました。絶対入学します！」「唐揚げ棒も最高でした！」などの声が聞かれました。

●尚絅学院大学主催「探究交流会」参加

10月11日(土)尚絅学院大学にて開催された「高等学校探究活動交流会」に、本校2年生のI.Mさん、O.Wさんの2名が参加し、ポスター発表を行いました。Iさんらの研究テーマは「不登校とフリースクールから考える現代社会に求められること」です。文献調査のみならず、近隣のフリースクールへの取材結果なども踏まえた研究内容・考察結果を発表し、多くの参加者からの関心を集め、活発な質疑応答がなされました。この交流会は、尚絅学院大学が本年度新たな試みとして開催したもので、主に仙南の高等学校を中心とした探究活動の交流会です。この日は、白石高校、角田高校、名取北高校、名取高校、宮城県農業高校、仙台三高など県内よりあわせて7校が参加し、日頃の研究の成果を発表し合いました。



●本校放送部が「太白区民まつり」で総合司会アシスタントを務めました。

10月19日(日)「太白区民まつり 2025 ―想いつなぐ未来のたいはく―」(主催: 太白区まちづくり推進協議会/太白区)が杜の広場公園特設ステージを会場として開催され、本校放送部のC.Kさん(2年)、S.Nさん(1年)、O.Yさん(1年)が参加しました。Cさんらはこの日、東日本放送のアナウンサーを中心とした総合司会のアシスタントを務め、長町のご当地ヒーロー「ナガマックス」をはじめ、各地域のゆるキャラ、各ステージの出演者の紹介などの業務を担当しました。「長町区民まつり」は、今年で30回目を迎える地域の伝統行事で、この日は特設ステージでの発表のほか、テナント村での活動PRや販売、ミニ機関車の運行、はたらく車の展示、プレーパーク開催など、子どもから大人まで楽しめる内容で多いに盛り上がりしました。

↓ ゆるキャラを紹介する本校放送部員

